



代表の前島郁夫氏（笛吹市商工会理事／青年部顧問）

継続補助金活用による販路開拓、事業承継、経営力強化法の認定と段階的に事業を展開。代表就任後の前年度比売上高は毎年約

106%、146%の増加、従業員も拡充し順調であった。しかし、平成二九年に前年度比売上高101%と急に成長が減速した。

原因は生産量にあった。ぶどう苗木生産は挿し木（土に直接枝を挿す）で容易に生産可能であるが、同社は接木苗（病害虫抵抗性台木に品種を接ぐ）を専門としている。挿し木苗と比較して半分以上の生産量だが、永続的に日本一のぶどう産地を守っていくためには必要な措置である。また、苗木生産には1年間の生育期間と場所の確保も必要となる。



そこで、前島氏は商工会の支援を受け、経営革新計画を策定。認定を受け、平成三十年から醸造用ブドウ苗木のポット育苗成方式を取り入れ、早期出荷による分散販売と販売量の増加に取り組んだ。以前は年間約3万本の出荷が、現在は年間約6万本の出荷が可能となり顧客からは「必要な時期に確実に入手

出来て助かる。ワインの出荷量が安定する」という声が寄せられており同社の取り組みには大きな期待が寄せられている。

更なる生産性の向上を図るため、前島氏は今年から新たなプロジェクトに挑戦する。「農業使用量を低減しつつ正品位率を上げる方法に取り組む。これは経営理念にそった環境への取り組みでもありSDGsにもつながる」と意気込みを語る。コロナ禍により需要が見通せない判断したワイナリーが設備投資を控えたこともあり、同社の醸造用ぶどう苗木の注文はコロナ前と比べ5割以下と大きな影響を受けている。「新しい取り組みによってロス率を下げて生産性の向上と収益性を安定させる」商工会経営指導員と未来を語る前島代表からはピンチをチャンスに変える強い意志と地域の将来を見据えた熱い思いを感じた。

有限会社 前島園芸

〒406-0821 笛吹市八代町北 1454

TEL 055-265-2224

FAX 055-265-4284



商工会員の皆さま! 人手不足に悩んでいませんか?

★派遣ではこんなお仕事をしています!

- ・ 運転業務（自家用車）・飲食店の調理補助・販売やイベントのお手伝い
- ・ 事務所内の受付、事務、清掃、軽作業・介護補助 など



チエブクロー

忙しい時、朝夕だけ
働いてくれる人は
いないかな・・・

休日代わりに仕事を
してくれる人は
いないかな・・・

1ヶ月だけ働いて
くれる人が
いないかな・・・

公益社団法人 高齢者活躍人材確保育成事業

山梨県シルバー人材センター連合会

甲府市飯田三丁目3番28号 スカイハイツ1階

TEL (055) 228-8383 FAX (055) 228-8389

URL <https://www.y-sjc.jp/>